

令和元年度
転入女性が暮らしやすい
福島づくりプロジェクト
活動報告書

この事業は「2019年度ふくしま未来基金（公益財団法人パブリックリソース財団）」と
「令和元年度「福島に来て。」頑張る地域応援事業補助金（福島県）」の助成を受けて実施しました。



令和元年度
転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト
活動報告書

【発行日】 2020年5月

【制作・発行】 ベルフォンテ

<http://belfonte.info>

<http://tenten-f.info>

belfonte.fukushima@gmail.com



ベルフォンテ

転入女性が暮らしやすい福島を目指して

「孤独」や「焦り」を感じている転入女性が一人でも少なくなるように。
そしてこの福島に居場所ができて自分らしくいきいきと生活できるように。

そんな思い一つで昨年度「転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」をスタート。
活動を応援してくださる方のおかげで、「WELCOMEワークショップ」「転入女性のしゃべり場」を開催することができました。それぞれのイベントでは、参加者がお互いに悩みを話し、情報交換を行い、福島の良さを伝えあう様子を見るたびにプロジェクトの必要性を実感しました。
プロジェクト独自のWebサイト「tenten fukushima」を立ち上げ、私たち転入女性がライターとなり、外からの視点で福島の暮らしの情報発信を開始し、活動の基盤を作ることができました。

活動の2年目となる令和元年度は、より多くの福島県に住む転入女性にプロジェクトを知ってもらい、参加してもらうために、福島市を中心に実施していた「転入女性のしゃべり場」改め「tenten cafe」の開催場所を広げること、「tenten fukushima」で情報発信するライターを増やすこと、そして仕事づくりの活動を始める事を目標に活動しました。

白河や南会津、そして東京でも「tenten cafe」を開催させていただき、のべ人数149名の方がプロジェクトに参加していただきました。

広がり始めた転入女性コミュニティ。
コミュニティメンバーで仕事を受託したり、転出したメンバーと福島の架け橋となる活動をしたことにより、コミュニティの更なる可能性を見つけることができた1年でした。
そして、転入女性が暮らしやすい福島を目指すことは、転入女性と地域が良い関係を築き、win-winの関係になることだと気付かせてもらいました。

「福島に来てよかった」
「あの人が福島に来てくれてよかった」

そういった声にあふれる福島を目指して、今後も活動していきたいと思えます。



令和2年5月
ベルフォンテ 代表 藤本菜月

目次

あいさつ、目次	
プロジェクトについて	1
実施報告①WELCOMEワークショップ	2~3
実施報告②tenten cafe（福島市、郡山市、白河市、南会津町、東京）	4~6
実施報告③クラウドソーシングセミナー	7
実施報告④tenten fukushima	8~9
プロジェクトのアウトカム	10
参加者の声、地域の人の声	11
富山視察報告、(参考)プロジェクトのロジックモデル	12
受託業務について	13

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトとは…

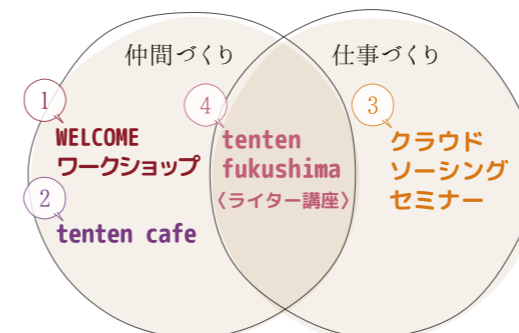
パートナーの転勤や結婚により福島に転入した女性を対象として、
・福島の魅力を体験するワークショップや座談会を開催し、仲間づくりや情報交換を行う場
・よそ者視点、様々な土地に住んだ経験、豊富な職歴やスキルといった転入女性の特徴を生かした活躍の場を作るプロジェクトです。
不安や孤独で孤立しがちな転入女性が、仲間、情報、地域、社会と繋がり、暮らしやすくいきいきと楽しく福島で生活できる環境を作ることを目指しています。

なぜこのプロジェクトを行うのか…

福島県に転入する女性は毎年約 25,000 人。
福島県の調査(※)によると、転入の理由は、転勤や結婚が 45% を占めています。
そのような転入女性の中には、「外部との関わりを持ちにくく孤独を抱えている」「仲間がいなかったために口コミ的な情報を聞ける相手がおらず地域の生活情報を入手にくい」「キャリアをリセットして転入したことで、特に転勤族の場合やお子さんが未就学児の場合、定職に就くことが難しく社会とのつながりを持ちにくい」というネガティブな状況に置かれている方が多く見られます。
当プロジェクトは、福島に対してポジティブな印象を持ち、いきいきと楽しい福島生活を送る転入女性を増やすことを目的とします。
それはひいては定住する女性が増えること、またいずれ福島から転出した後でも、福島のファンであり続け、福島との繋がりを持つ関係人口が増えることに繋がっていくと考えています。
(P12 ロジックモデル参照)

(※)平成 30 年度福島県 UI ターン実態調査事業調査報告書

本プロジェクトでは
「仲間づくり」「仕事づくり」を2本柱に、
4つの取り組みを行っています。



令和元年度 プロジェクトの沿革

- 令和元年5月20日 tenten cafe@白河市①
- 令和元年5月21日 tenten cafe@福島市①
- 令和元年6月18日 WELCOMEワークショップ初夏開催①
- 令和元年7月1日 tenten cafe@白河市②
- 令和元年7月2日 WELCOMEワークショップ初夏開催②
- 令和元年7月9日 tenten cafe@福島市②
- 令和元年7月16日 WELCOMEワークショップ初夏開催③
- 令和元年9月13日 tenten cafe@郡山市①
- 令和元年9月17日 WELCOMEワークショップ初秋開催①
- 令和元年9月26日 tentenライターフォローアップ講座@福島市
- 令和元年9月28日 tenten cafe@福島市③
- 令和元年10月1日 WELCOMEワークショップ初秋開催②
- 令和元年10月3日~4日 クラウドソーシングセミナー
- 令和元年10月5日 tenten cafe@白河市③
- 令和元年10月17日 tentenライター講座@福島市①
- 令和元年10月24日 tentenライター講座@福島市②
- 令和元年10月30日 WELCOMEワークショップ初秋開催③
- 令和元年11月1日 tenten cafe@郡山市②
- 令和元年11月6日 tenten cafe@南会津町
- 令和元年11月7日 tentenライター講座@福島市③
- 令和元年11月8日 tentenライター講座@郡山市①
- 令和元年11月17日 tenten cafe@東京
- ※福島県主催「くらし仕事フェア2019」内で実施
- 令和元年11月21日 tentenライター講座@福島市④
- 令和元年11月22日 tentenライター講座@郡山市②
- 令和元年11月28日~29日 富山県転勤ノオト視察、転勤族ママ会@富山にゲスト参加
- 令和元年12月5日 tentenライター講座@郡山市③
- 令和元年12月10日 tenten忘年会@福島市
- 令和元年12月19日 tentenライター講座@郡山市④

※この他毎週月曜日にtenten fukushimaの情報発信

県北ふくしま転入女性対象 WELCOMEワークショップ

結婚やパートナーの転勤などで県北地方に転入された方を対象にした、県北地方の魅力が詰まった3回連続のワークショップです。楽しく地域のことを学びながら仲間づくりをして、少しでも早く県北地方での生活を楽しんでもらうことを目的としています。

■初夏開催 ■参加者:15名 ■会場:働く婦人の家

第1回 お互いを知り仲間作り ■日時:令和元年6月18日(火) ■講師:子育て支援hanaso 吉田暁子さん、寺崎裕美さん

スケッチブックを使って自己紹介をした後は参加者それぞれの決めたニックネームを使用します。アイスブレイク(初対面の人同士が会おうとき、その緊張をときほぐすための手法)を行い、後半のグループワークの最後には福島のいいところを書き出して参加者同士でシェアしました。



第2回 金水晶の酒粕を使ったパック&石鹸作り ■日時:令和元年7月2日(火) ■講師:aroma-nature 長澤恵さん

福島の素材を使ったワークショップができないかと講師の長澤さんに依頼し、何回も打合せを重ねた結果、福島市唯一の蔵元である金水晶酒造店の酒粕を使ったワークショップの開催が実現しました。作業工程や酒粕の美容効果等を説明いただいた後、金水晶の酒粕を使った手練り石鹸とフェイスパック作りを行いました。



第3回 福島の桃を使ったカレー作り ■日時:令和元年7月16日(火) ■講師:Curry dining bar 笑夢 芳賀眞さん

講師の芳賀さんには笑夢で大人気のバターチキンカレーに福島の桃で作ったチャツネを隠し味に入れるカレーを教えてくださいました。レシピだけでなく、家庭での応用法まで惜しみなくご指導いただき、とても充実したワークショップになりました。試食では、どのテーブルでも美味しい!と好評で、皆さん家でも挑戦してみたいと言われていました。最後には連絡先の交換をされる方が多く、この初夏開催のLINEグループもできたことで参加者同士が今後つながることができました。



感想

- 参加するか迷っていたけど、こうやってみんなと仲良くなれて参加してよかった。
- 転勤族で正直大変なことも多かったけど、こんな機会に出会えて転勤族でよかったと思えた。
- tentenがあることで福島が移住しやすいところになっていくといいなと思った。
- 家族以外とのつながりが欲しくて参加したら、同じ思いの人が多くことがわかり安心した。
- 私にもやれることがあったら、チャレンジしていきたいと思えた。
- 福島のあらゆる情報を知ることができて、今後福島で暮らす上で少し不安が減った。

- 同じ境遇の友達と知り合えたことで、心強い気持ちになれた。
- 実家や地元友達と電話で話さず、次第にこの境遇になったことに対しストレスを感じていた。参加してみてもみんな同じように緊張しているから話やすかった。
- 今まではどうせ3年くらいでまた転勤だろうと諦めていたところがあった。ワークショップに参加した日はいつも以上に子どもに優しくできていたり、気持ちも満たされた。
- ワークショップの内容に興味があり参加したが、その内容以上に得られるものがあった。
- 去年参加している人がすごく楽しそうだったからどうしても参加したかった。これからも福

島に住む一人の女性として、転入女性の助けもしていきたい。
■ 今回知った福島の良さをもっといろんな人に知ってほしいと思った。



■初秋開催 ■参加者:13名 ■会場:働く婦人の家

第1回 お互いを知り仲間作り ■日時:令和元年9月17日(火) ■講師:子育て支援hanaso 吉田暁子さん、寺崎裕美さん

初夏開催同様、アイスブレイクでお互いの緊張を解きほぐしました。グループ対抗のゲームで、みんな童心に戻り大盛り上がり!最後にグループ内で「福島のいいところ・来てよかったこと」を書き出してシェアしました。



今回はワークショップ開始から終了まで福島中央テレビ(FCT)に取材いただきました。

第2回 福島の郷土料理いかにんじんと太巻き作り ■日時:令和元年10月1日(火) ■講師:Moriai underground Lunch & Sushibar 江戸政 佐藤賢一さん

講師の佐藤さんより「いかにんじん」を家庭で簡単に美味しく作る方法を教えてもらいました。とても簡単な工程で「家でもやってみよう!」「食べ頃になるのが楽しみ!」との声をいただきました。続いて太巻きづくり。デモンストレーションで巻き方のコツを解説していただきながら、佐藤さんの職人技を見せていただきました。太巻きの具材には、福島県産のきゅうりや卵、福島で作られたお揚げやたくあんなどを準備していただきました。美味しいいかにんじんと太巻きを食べながら、各グループ話が止まらず、賑やかな会食となりました。



第3回 福島の春を詰め込んだボトルフラワー作り ■日時:令和元年10月30日(火)(台風19号の影響で延期開催) ■講師:anemos 長澤友美子さん

花見山で有名な福島市。福島の春に咲く花桃・レンギョウ・ゆきやなぎなどのドライフラワーを自由にガラス瓶に配置しインテリアとして楽しむボトルフラワーを作りました。まさに「福島の春」を詰め込んだ作品です。使用した花材の花は、様々な方の協力やお花の提供をいただき、長澤さんにドライフラワーにしてもらいました。作業に入る前に花材について説明と作り方のアドバイスをもらいながらイメージを膨らませ、花材を選び、ボトルへ詰めていきました。ボトルフラワーが出来上がったら全部を並べ、撮影会がスタート。どれ一つと同じものもなく、個性あふれるボトルフラワーをみなさんいろんな角度から撮影していました。



感想

- 女性同士、たくさん話せて楽しかった。
- 福島にただ住んでいるだけでは福島のことを知るきっかけはないから、このワークショップがあってよかった。
- ワークショップが3回で終わることががさみしい。また集まりたい。
- 親戚、職場以外でつながりができて嬉しい。
- 今回のボトルフラワーをやりたくて、参加申し込みをした。いかにんじんを教えてくださいました江戸政さんにも食事に行ったり、ワークショップがきっかけとなり視野が広がった。
- 同じ境遇の人がこんなにいると心強く、これからもつながり続けたい。
- 台風の時にこのワークショップメンバーとのつながりがあって安心した。
- すでに引越すことが決まっているが、引越したところでも福島の良さを発信したいと思うようになった。

